

週刊 女川湾海況速報 (No.7)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリナイス復興支援室

8 月 27 日から 31 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は全層で上昇。鉛直的には水深とともに下降。表層(0m)と底層(5m)の水温差は約 3℃。塩分は水深とともに上昇傾向。特に底層で外洋水の影響が顕著。

水深 [m]	8月27日 (月)	8月28日 (火)	8月29日 (水)	8月30日 (木)	8月31日 (金)
0	25.2 (33.3)	24.9 (33.2)	24.6 (33.6)	24.3 (33.7)	25.1 (33.6)
5	22.2 (33.7)	21.6 (33.4)	21.7 (33.7)	21.4 (33.8)	21.8 (33.8)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル(千分率)。1パーミル = 1PSU (実用塩分単位)。

②濁度：29日以前は先週と同程度。30日に底層で顕著な上昇。

水深 [m]	8月27日 (月)	8月28日 (火)	8月29日 (水)	8月30日 (木)	8月31日 (金)
0	0.5	0.6	0.6	0.5	0.4
5	0.8	0.7	0.5	1.0	1.0

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週に引き続き、7~8mg/l 台を維持。鉛直的には水深とともに上昇傾向。

水深 [m]	8月27日 (月)	8月28日 (火)	8月29日 (水)	8月30日 (木)	8月31日 (金)
0	7.5	7.9	7.8	7.8	7.7
5	7.9	8.1	8.4	8.1	8.0

単位は mg/l。水産用水基準(水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値)：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温は水深とともに下降。水深 0m と 5m の間に大きな水温勾配 (3.6℃/5m)。塩分は水深 5m 以深で 33.8 パーミル。外洋水の影響と推定。濁度は 0.3~3.4FTU。溶存酸素は 7.1~8.6mg/l。

8 月 29 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	24.2	33.6	0.7	7.9
5	21.6	33.8	0.5	8.4
10	20.9	33.8	0.3	8.6
15	20.1	33.8	1.2	7.6
19	19.5	33.8	3.4	7.1

本データの利用については、
東北大学マリナイス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。